

令和5年度 音楽科 授業改善推進プラン

大田区立大森第一中学校

1 昨年度の授業改善推進プランの検証

(1) 成果

- ・音楽に対して意欲的な生徒が増えた。
- ・協同的な学習を取り入れ得ることで、生徒の音楽への意識が変わった。
- ・合唱だけでなく、鑑賞や器楽など幅広く興味をもつ生徒が増え、音楽的な理解も深まった。

(2) 課題

- ・マスクをつけての歌唱が長くあったため発声の基礎ができていない。
- ・授業態度・授業を受ける姿勢の改善（ワークシートの提出等も含む）
- ・音楽的知識を広げ、それを元に思考や表現につなげられる力を育む。

2 分析（観点別）

① 第1学年

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
歌唱はそれなりに声を出して歌うが、発声等の基礎的な力をつける必要がある。音楽の基礎知識は全体としては高くない。	知り得た音楽的な知識から、それを元に考えられる生徒もややいる。歌唱等での表現に対する意識はあまりない。	おしゃべりを含めて集中力が続かない傾向がある。記述等は意欲的に取り組んでいる。提出物はきちんと出せている生徒が多い。

② 第2学年

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
・歌唱や発声などには音楽的知識を用いて取り組めるようになってきている。 ・鑑賞は音楽的に考えられる生徒が増えてきた。	・知識の積み重ねができてない傾向にあるため、思考や表現につなげることが難しい。 ・想像力は高い生徒もいるので、理論だけではない表現の工夫につなげたい。	・鑑賞では記述力・言語化が難しい生徒はまだ多いが、自分なりに模索する生徒も増えてきた。 ・宿題にするとワークシート等の提出ができない生徒が一定数いる。

③ 第3学年

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
・知識は習得しようという意欲があるので、幅の広い資料があるとよい。楽譜理解がもう少し深まるとよい。	・表現の工夫やどのように表現するか意識はまだ弱い。また、人前で思い切り歌うことに対する抵抗があるので、その部分を改善したい。	・ワークシートなどの記入も意欲的に取り組む生徒が増えた反面、提出ができていない生徒もそれなりに多い。

3 授業改善のポイント（観点別）

(1) 第1学年

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
<ul style="list-style-type: none"> ・知識・実技ともに基礎的な力をつける。（発声・音楽用語・音楽理解等） ・最初から分からないと投げ出してしまいう生徒がいるので、机間指導の時間を取る。 	<ul style="list-style-type: none"> ・音楽的な用語を用いて、考えられるように指導を行う。 ・強弱等の記号など、音楽的な変化に対して考える意識を育てる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・提出物等、1学期の状況を続けられるようにする。 ・習得を意識した授業計画にする。（時間配分等）

(2) 第2学年

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
<ul style="list-style-type: none"> ・積み重ねを意識した知識の習得を意識させる。 ・歌唱では技術的な指導を意識する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・合唱での歌詞の理解など、深く音楽について考え、それによる音楽的な変化を実感できるようにし、楽曲の理解を促す。 	<ul style="list-style-type: none"> ・目的意識をもたせて取り組ませるようにする。（見通しをもたせる）

(3) 第3学年

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
<ul style="list-style-type: none"> ・歌唱：マスク生活により思い切り声を出す習慣（経験）があまりないためそれをつける指導が必要。 ・幅広く知識・技能をつけられるよう器楽・創作・鑑賞を通してバランスよく授業を展開する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・歌詞の内容等楽曲の理解を深め、表現しようとする意識を高める。また表現に関する用語への意識を高める。 	<ul style="list-style-type: none"> ・言語化することを習慣づけ、理論的に実技等の課題に取り組む。